

## 令和8年度のスタートにあたって

東金市立東中学校 校長 石原 信行

平素から、保護者の方々や地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。本年度、東中学校に着任いたしました校長の石原信行と申します。どうぞよろしく願いいたします。本校は、4月9日（木）の入学式で132名の新入生を迎え、令和8年度は全校生徒403名、学校職員39名でスタートいたしました。

本校では「自律」「創造」「友情」を校訓として、『郷土とともに、これからの時代を主体的・創造的に自立して生きる生徒の育成』を学校教育目標に掲げています。本校は開校当初から、校則のない学校として、「自立の心」を重んじ、自分たちでルールを考え、共に向上できるよう話し合い、取り組んできました。校門の右手、駐輪場の脇にある記念碑に刻まれた「自立」という言葉や、バイパス沿いの看板に掲げられた「明日もまた自立の心東中」から、その伝統が伺えます。

始業式・入学式で、「人のことを大切にして話を聞く」ことの意義について話をしました。「人のことを大切にして話を聞く」とは、相手の思いに寄り添うことであり、相手の気持ちを分かろうとすることです。家族や友達や、先生、多様な人々の考え方や生き方にふれることは、視野を広げ、新たなことに挑戦しようする気持ちや、自立して生きる力を育むことにつながると考えます。身近な人や相手を思いやる優しさと心の広さを大切にして、ともに学び合い、高め合うことのできる学校づくりを目指していきたいと思えます。

これからも生徒の健やかな成長のために、教職員が一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも皆様の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

